

令和元年度 稲沢市環境審議会 会議録

【日 時】 令和元年11月6日(水) 午後1時30分～2時45分

【場 所】 稲沢市環境センター 2階 大会議室

【出席者】 稲沢市環境審議会委員(敬称略)

会 長	山村 等	稲沢市医師会
副会長	上田 能徳	稲沢商工会議所
委 員	服部 英一	稲沢市歯科医師会
委 員	高木 真寿美	稲沢市薬剤師会
委 員	元山 哲	愛知県尾張県民事務所
委 員	佐竹 聖子	一般社団法人 稲沢青年会議所
委 員	森永 成郎	豊田合成労働組合
委 員	内藤 ひろ子	稲沢市連合婦人会
委 員	松村 照清	稲沢緑ライオンズクラブ
委 員	小島 隆	平和町商工会
委 員	野田 珠生	NPO法人 祖父江のホテルを守る会

【事務局】 岩間 福幸 経済環境部長
糸田 裕子 経済環境部 環境保全課長
小澤 里敏 経済環境部 環境保全課 主幹
渡辺 幸治 経済環境部 環境保全課 主幹
岡崎 勝也 経済環境部 環境保全課 主査
眞鍋 敬子 経済環境部 環境保全課 主査

【オブザーバー】 岡田 稔好 経済環境部 資源対策課長
吉川 康彦 経済環境部 環境施設課長

【議事次第】

議題

- (1) 第3次稲沢市環境基本計画及び生物多様性いなざわ戦略について
- (2) 稲沢市地球温暖化対策実行計画に係る平成30年度実施結果について
- (3) プラスチック・スマートの推進について
- (4) 平成30年度「稲沢市の環境」について
- (5) その他
 - ・稲沢市環境委員について
 - ・稲沢市さわやか隊員について
 - ・稲沢市さわやか隊統一行動日及び環境講演会について
 - ・浄化槽設置事業補助制度について

【会議の概要】

- ・新任委員(元山委員) 自己紹介
- ・経済環境部長 あいさつ

本日は大変お忙しい中、稲沢市環境審議会にご出席賜り誠にありがとうございます。

最近の話題としては、アメリカ合衆国がトランプ大統領の意向に沿ってパリ協定から脱退するとのニュースがありました。

南米チリでは、COP25の会議が開催される予定でしたが、国内情勢の不安でスペインになりました。そこに、以前に国会の場で涙ながらに怒りをあらわにしていた高校生のグレタさんが、船でチリに向かっていたようですが、急に会議がなくなって困っていたときに、スペイン政府が支援するという話題がありました。

去る5月16日、環境センターでの火災が発生いたしました。復旧工事については、先々に契約いたしまして、令和3年1月末には完成する予定です。その前には、機械器具を新たに整備し入れ換えまして試運転をします。工事を発注してからのオーダーメイドになりますので、市民の方にはご迷惑をかけないようにと、市長からも命令を受けております。

可燃については問題ありませんが、不燃については、市外3か所へお願いしている状況でございます。自然災害時には、尾張地区で焼却施設を持っている市町村・事務組合において協定を結んでおりまして、一宮市、弥富市にごじます海部地区環境事務組合の処理施設、三重県伊賀市にごじます民間処理場の3か所に搬入しております。三重県はこちらで出た焼却灰の最終処分地でもあり、ご縁があります。経費がかかることですが、市長から言われておりますのは、ただ元に戻すだけではなく、再発防止策として、監視装置の増設、スプリンクラーの増設、ヒューマンエラーを起こさないようなマニュアルの整備等にも力を入れているところでございます。

首里城や白川村の火事などは見ていてつらいものです。

台風などの被害がありました三重県、あるいは長野県では、ボランティアの方も一生懸命泥を掻き出しているところがありますが、災害廃棄物がうず高く積まれている状況でございます。

稲沢市でも資源対策課にて災害廃棄物処理計画を策定しました。

堤防も切れて、浸水の予想をしている市町村のハザードマップを今までは最悪でも100年に一度見直すと言われておりましたが、国交省が10年に一度の見直しが必要とのことであります。いざというときは助け合いの精神を念頭に置きまして、市におきましても環境行政を推進してまいりたいと思います。

本日の環境審議会は、5つの議題がございます。慎重審議を賜りたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

- ・事務局 自己紹介
- ・会長 あいさつ

1 議事

[会長]

ただ今より、議事を進めます。皆様のご協力をお願いします。

議題（1）第3次稲沢市環境基本計画及び生物多様性いなぎわ戦略について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

○質疑応答

[委員] Q

指標 1 (2) グリーン購入の調達率について、調達率はどのような計算式か。

[事務局] A

購入品全体の中で、グリーン購入品であるものの割合です。

[委員] Q

高い割合でグリーン購入品を買っているということか。

[事務局] A

そのとおりです。中には、選びたくてもグリーン購入品がない場合もございますので、今回はその件数が多く、昨年度より調達率が低くなりました。

[委員] Q

指標 2 (2) 環境センターから排出される焼却灰の資源化率について、16.8%セメントに再利用したとのことだが、どういうところにセメントを利用しているか。

[事務局] A

三重県いなべ市にある工場へ処分費を払って持って行っております。セメントに混ぜて処理しています。稲沢市から出しているのは、その一か所です。

[委員] Q

焼却灰の資源化率というのは、ほとんどがセメントの利用で、それ以外は埋め立てをしているということか。

[事務局] A

そのとおりです。一時期はスラブにしていたが、溶融という手法は電気を使用し、二酸化炭素を発生させるため、その手法を取ることはほとんどなくなり、最近ではセメントに入れる手法が一番主流と考えます。

[委員] Q

指標 1 (1) 公用車における電気・燃料電池自動車の台数について、電気自動車・燃料電池自動車の内訳はどのようにお考えか。また、電気自動車は火力発電などからの電気を使用することを考えると、実はエコでないと言われていました。

[事務局] A

2台の内訳としては、1台は電気自動車、1台は燃料電池自動車です。また、目標値については、目標設定時、正規職員がいる公共施設が23か所であったため、23台としており、環境保全課としての考えであります。太陽光パネルを設置し、電気自動車へ充電し、災害時にも利用できるようにと考え、理想を高く持って策定させていただいております。

[委員] Q

自然エネルギーを利用した充電であれば、全く問題ない。

[会長]

質疑もないようですので、次に移ります。

議題 (2) 稲沢市地球温暖化対策実行計画に係る平成30年度実施結果について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

[会 長]

何かご質問、ご意見はございませんか。

質疑もないようですので、次に移ります。

議題（3）プラスチック・スマートの推進について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

○質疑応答

[委 員] Q

以前は、コンビニやドラッグストアなどが一緒になり、レジ袋削減の取組がされていた。しかし、定着してきたこともあり、レジ袋を渡すところが増えている。コンビニなどへは、あまりエコバックなどを持って行かないので、レジ袋が必要であるが、不要な方は断ってください、という周知はされている。プラスチック削減で取り組みやすいところと難しいところがあるが、レジ袋の削減については、ちょっとした心掛けで削減することができるため、地域全体で取り組んでいく必要がある。再度、マイバッグ持参の働きかけをしていただきたい。

[事務局] A

レジ袋削減の取組について、平成21年度においては16店舗提携していましたが、徐々に辞退され、現在では4店舗となっております。来年の7月からレジ袋有料化が義務化されることなので、様子をみながら考えていきたいと思っております。

[委 員] Q

マイクロプラスチック問題については、色々な動物への被害が叫ばれているため、以前はごみを減らそうなど、わりと理念的な考えであったが、今では、突きつけられている状況であるため、ぜひもう一度、市として取り組んでいただきたい。

[事務局] A

6月2日に全国植樹祭、生分解性の樹脂のできている苗のポットを使用しました。ポットのまま植えてやがて土にかえるが、コストがかかるため、まだ利用がされていません。

国の法改正でレジ袋が有料化されてもお金を払えばいいという問題でもないため、小さなことから取り組んでいきたいと考えます。

[委 員] Q

小学生の給食の牛乳について、ストローをやめて直に飲むことで、65万本がストローを使用しなくて済むということがテレビで放映されていた。稲沢市も小さなことから取り組んでいただきたい。

[事務局] A

昨年まではビン、今年度から紙パックに変更されました。省資源・リサイクルの観点からは、ビンをリサイクルしてもらうのが良いが、リターンルといって、戻して洗浄するという手間隙や経費、運搬上の重さが問題となり、紙パックとなりました。

[会 長]

ほかに何かございますか。無いようですので、次に移ります。

議題（４）平成３０年度「稲沢市の環境」について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

○質疑応答

[委員] Q

河川水質調査で、有害物質を調査されているとのことだが、有害物質が検出されていないのであれば、「どの地点も有害物質については検出されていません」と掲げた方が、安心するのではないか。細かいところまではなかなか見ないため。

９ページ（４）国府宮駅南、稲葉川の数値が高いが、下水道地域ではないか。

[事務局] A

表記は今後修正させていただきます。

下水道地域であります。水が滞留してよどんでいる地域であり、若干臭いがありました。川底がヘドロ化しておりました。

浚渫などして対応できるか、用地管理課と連携して対応します。

[委員] Q

１０ページ④陸田丸之内町 平成３０年度のＢＯＤの数値が急に高くなっているが何か原因はあるか。

[事務局] A

数値が高いため、今年度確認する予定です。年に２回調査がありますが、１回目は水の多い時期である６月で１．０であり、次回１２月の調査結果を確認する予定です。

また、６０の原因については、水の動いていない状態でしたので、渇水期は水が少ないことに加え、流れがないため、溜まる一方と考えられます。

[会長]

ほかに何かございますか。無いようですので、次に移ります。

議題（５）「その他 ①稲沢市環境委員について、②稲沢市さわやか隊員について、③稲沢市さわやか隊統一行動日及び環境講演会について、④浄化槽設置事業補助制度について」、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

資料に基づき、説明。

○質疑応答

[委員] Q

浄化槽の補助制度の期限はあるか。

[事務局] A

この制度は、国・県の補助制度がある限り継続されます。

[委員] Q

切り替えの対象はどれくらい残っているか。

[事務局] A

人数については、単独処理浄化槽は 16.8%、し尿処理施設（便槽）は 4.6%、全体での水洗化率（下水・集落排水など）は 78.6%であります。

[会 長]

その他、特にご質問、ご意見はございませんか。ないようですので、これで、本日の議題は全て終了いたしました。委員の皆様、大変ご協力ありがとうございました。以上にて、進行を事務局にお返ししますので、よろしく願います。

[事務局]

山村会長、どうもありがとうございました。

本日は、長時間にわたり慎重審議を賜り、誠にありがとうございました。その後も特にございませので、以上をもちまして会議を閉じさせていただきます。お帰り際には交通事故のないよう気を付けてお帰りください。